

ひびきの地区の安全安心な データセンターに向けて

令和8年10月9日
北九州市

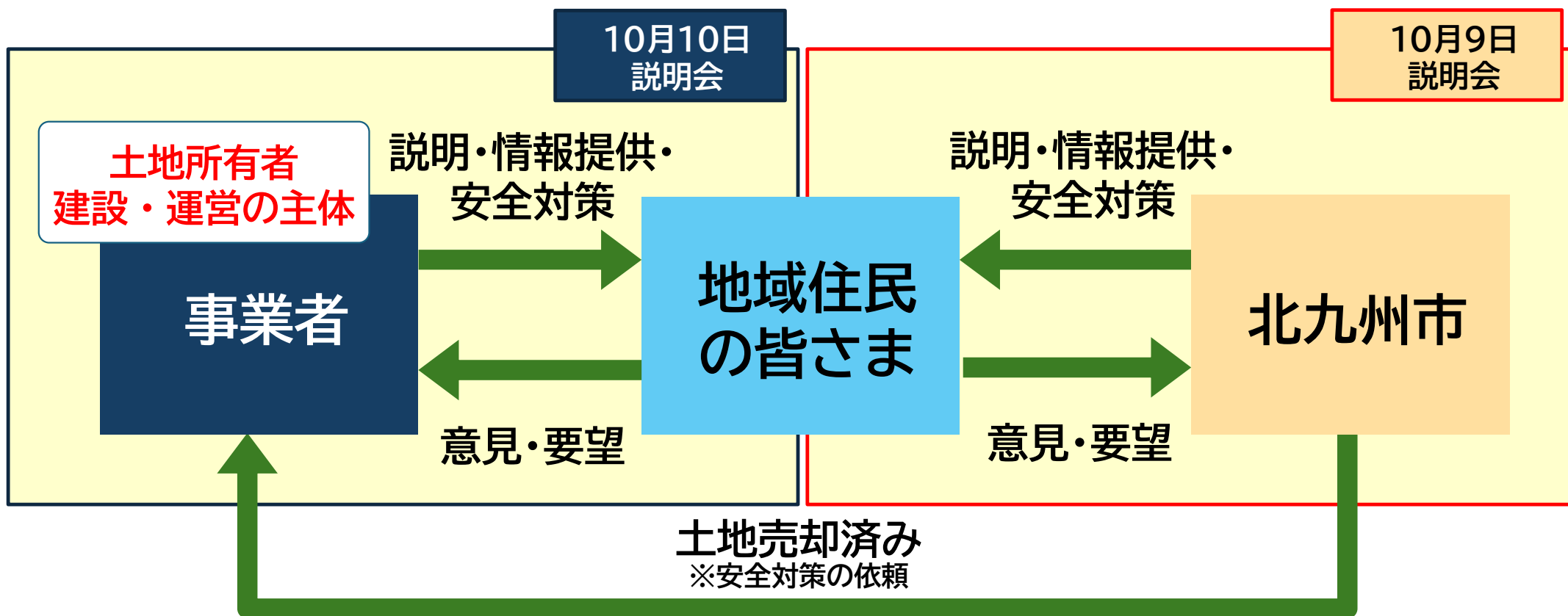
本日の説明会の趣旨

データセンター計画について、
「経緯」や「考え方」、具体的な「計画内容」、
工事にかかる「対策」等について、
「客観的な事実」に基づき説明し、
ご意見やご懸念を伺う場です。

住民の皆さまからのご質問・ご意見の状況

対 応	実 績
常設相談窓口 (9月16日～10月8日)	13名(のべ21名)
お問合せフォーム (9月20日～10月8日)	28件

住民の皆さま・事業者・北九州市の関係



※土地は売却済みであり、市は事業者に対して工事中止の権限はありません

暮らしを支えるデータセンター

- 私たちの暮らしや経済を24時間支える「デジタル社会の心臓部」
- 大切な情報を保管・処理し、社会のサービスを止めることなく支える施設
- 建物の耐震性、非常用発電設備、厳重な入退室管理など、幾重ものの備え



大切な情報を守るため非常に丈夫で
安全対策が講じられている施設



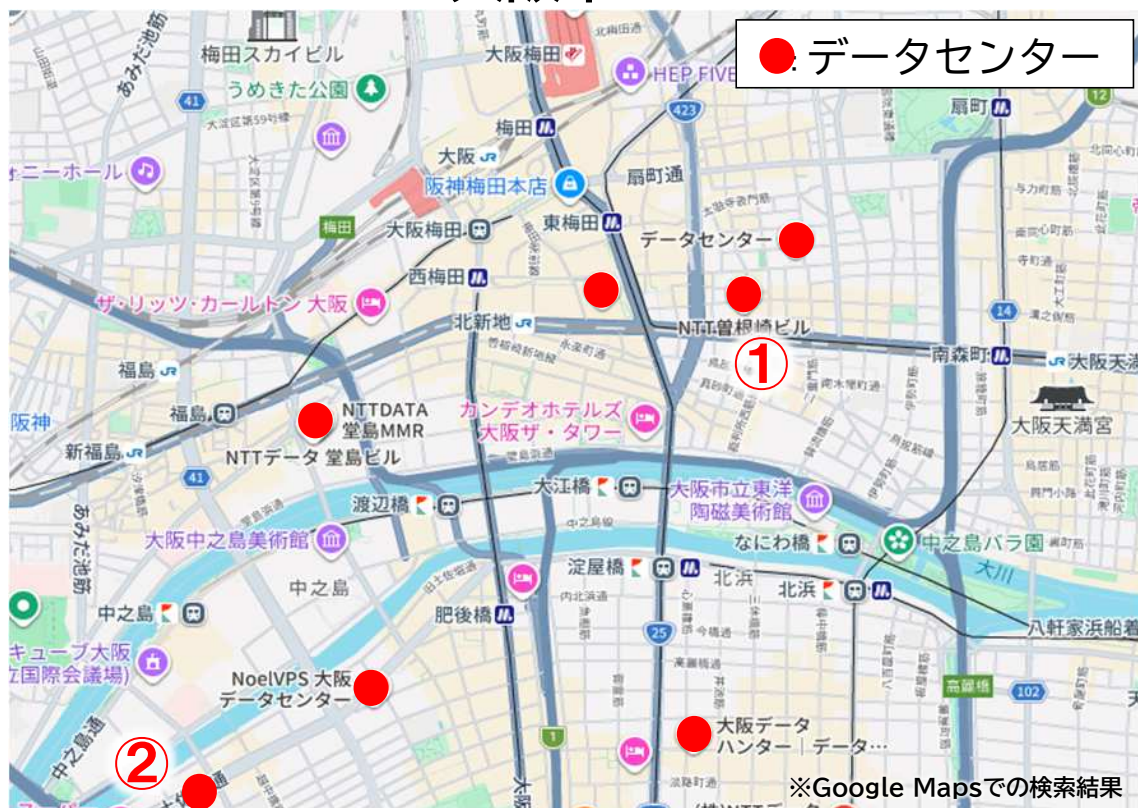
国は、大規模災害や経済安全保障の観点から、地方立地を進めています

ひびきのデータセンター(位置・イメージ)



都市部に立地するデータセンター事例①

大阪市



① NTT西日本 曽根崎データセンター (令和4年～)



②ミライト・ワン大阪データセンター (平成30年～)

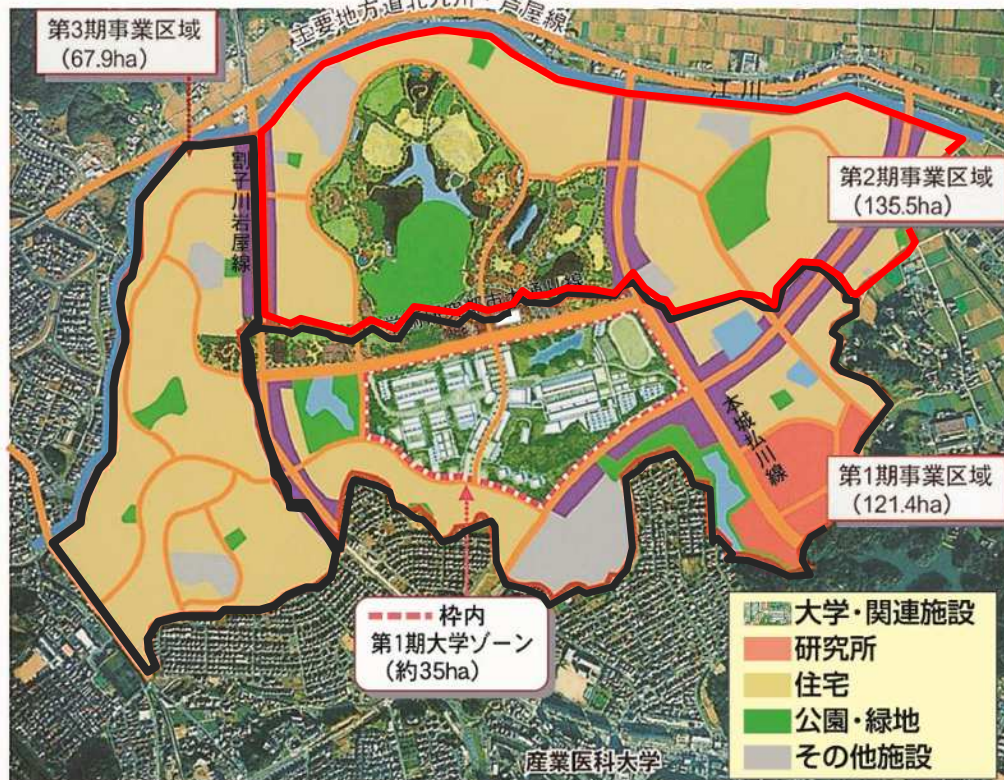
都市部に立地するデータセンター事例②



- NTT大阪第7データセンター
(大阪府茨木市太田東芝町3-2)
- 2階建て（一部3階建て）35.5MW
- 令和2年稼働開始
- 用途地域：準工業地域
- 追手門学院中・高等学校に隣接

「ひびきの」のまちづくり

- 基本方針 「アジアに開かれた学術研究都市」の形成と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、大学・研究機関・先進企業の集積を図る
- 開発地域 若松区西部・八幡西区北西部
- 開発総面積 約335ha
- 計画人口 12,000人（夜間人口）
住宅4,000戸
- 整備スケジュール
 - 第1期事業（約121ha）
平成7年度～18年度 ※事業完了
事業主体：(独)都市再生機構
 - 第2期事業（約136ha）
平成14年度～29年度
事業主体：北九州市
 - 第3期事業（約68ha）
検討中

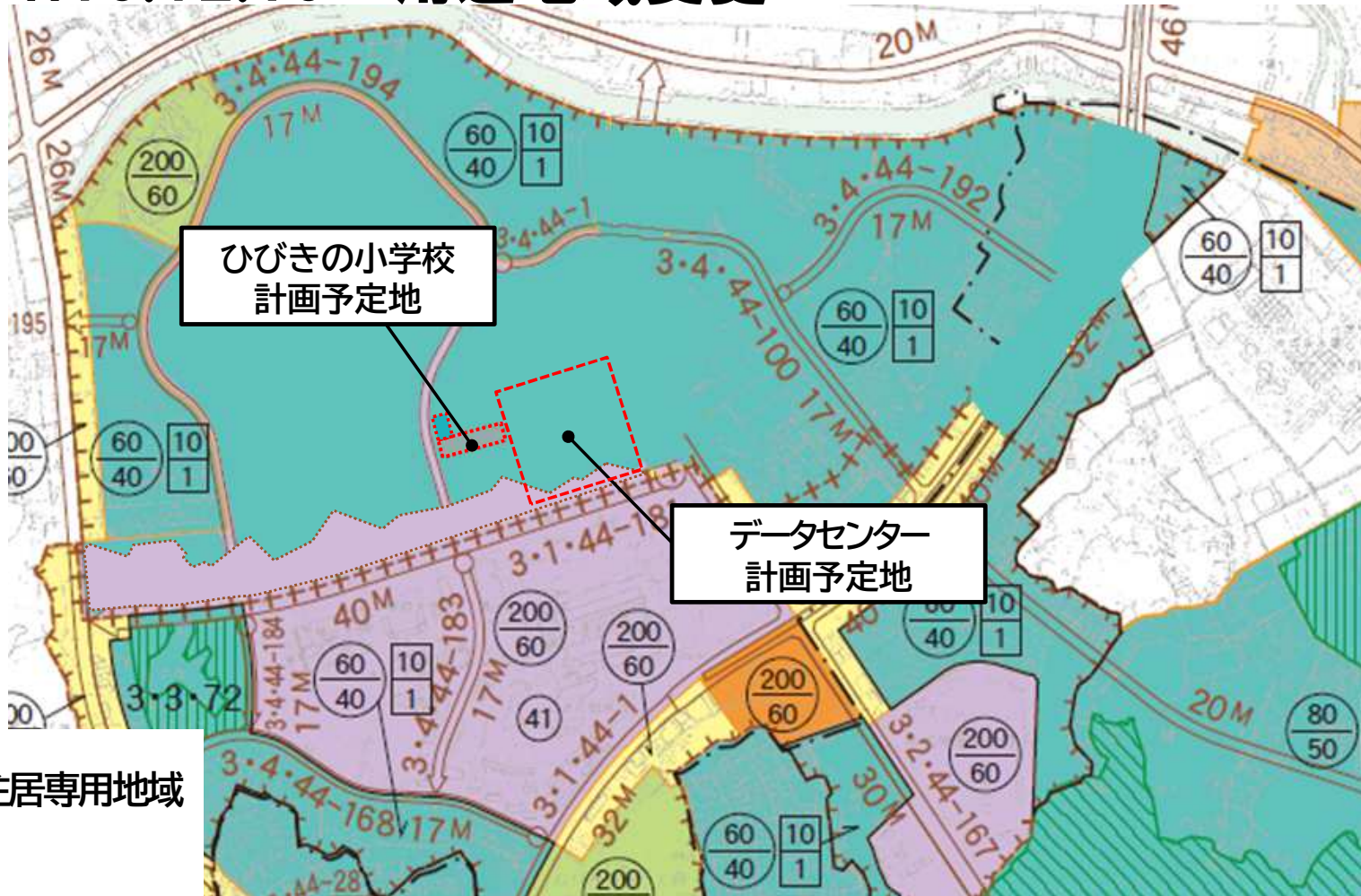


これまでの経緯

- 平成13年 北九州学術研究都市開設
- 平成28年 「準工業地域」へ変更
- 令和3年 事業者へ候補地を複数提示→土地選定
- 令和5年 用地売買契約を議会で全会一致で可決→売却完了（10月）
自治会組長会で説明（10月）
- 令和7年 計画について自治会組長会で説明（1月・7月）
市の出前講演（3月）
- 令和8年 造成工事の住民説明会（1月）
造成工事・電力引込工事着工（2月・4月）
建物計画住民説明会 第1回・第2回（7月・8月）

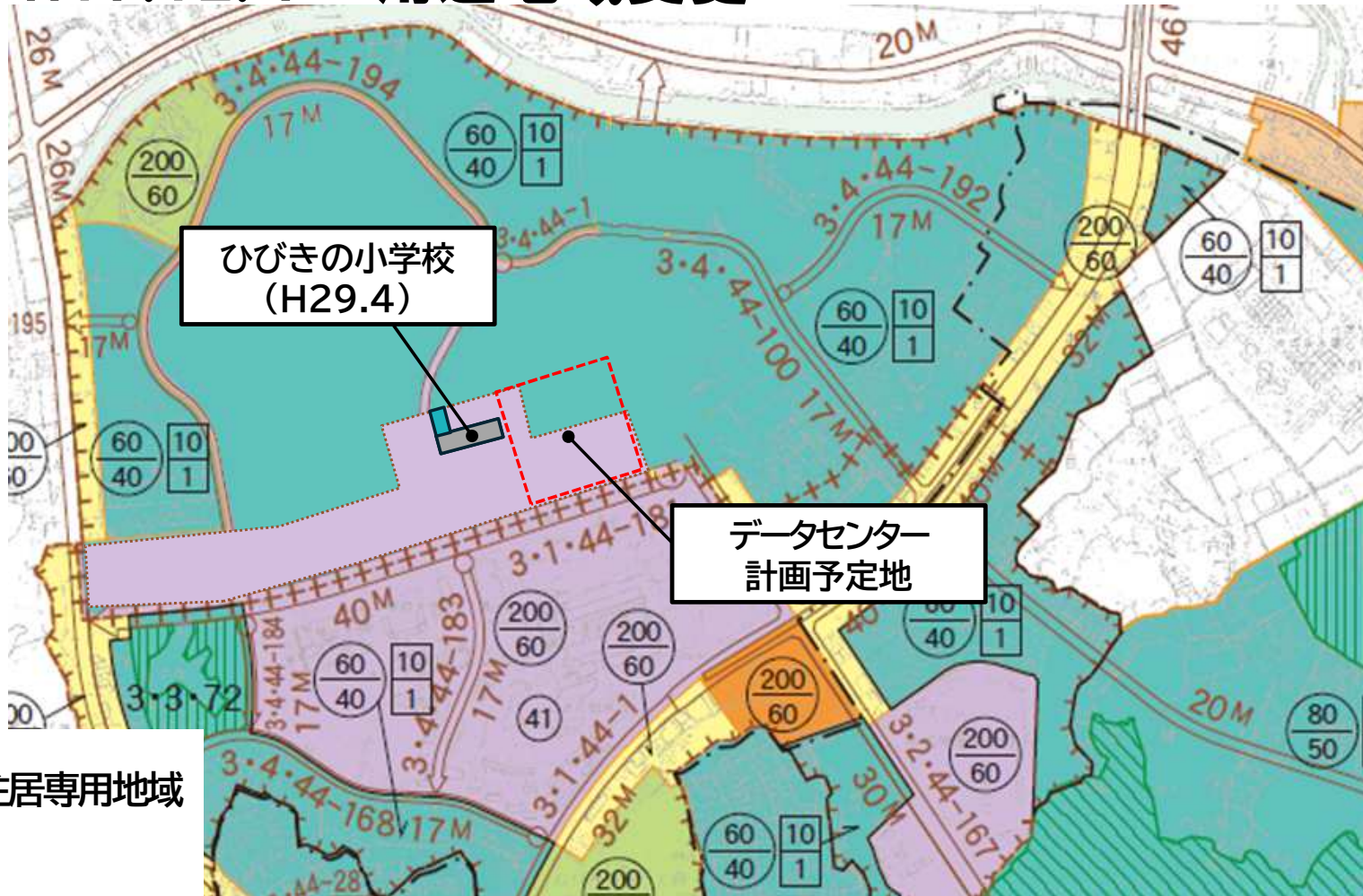
用途地域の変更と土地利用

H13.12.19 用途地域変更



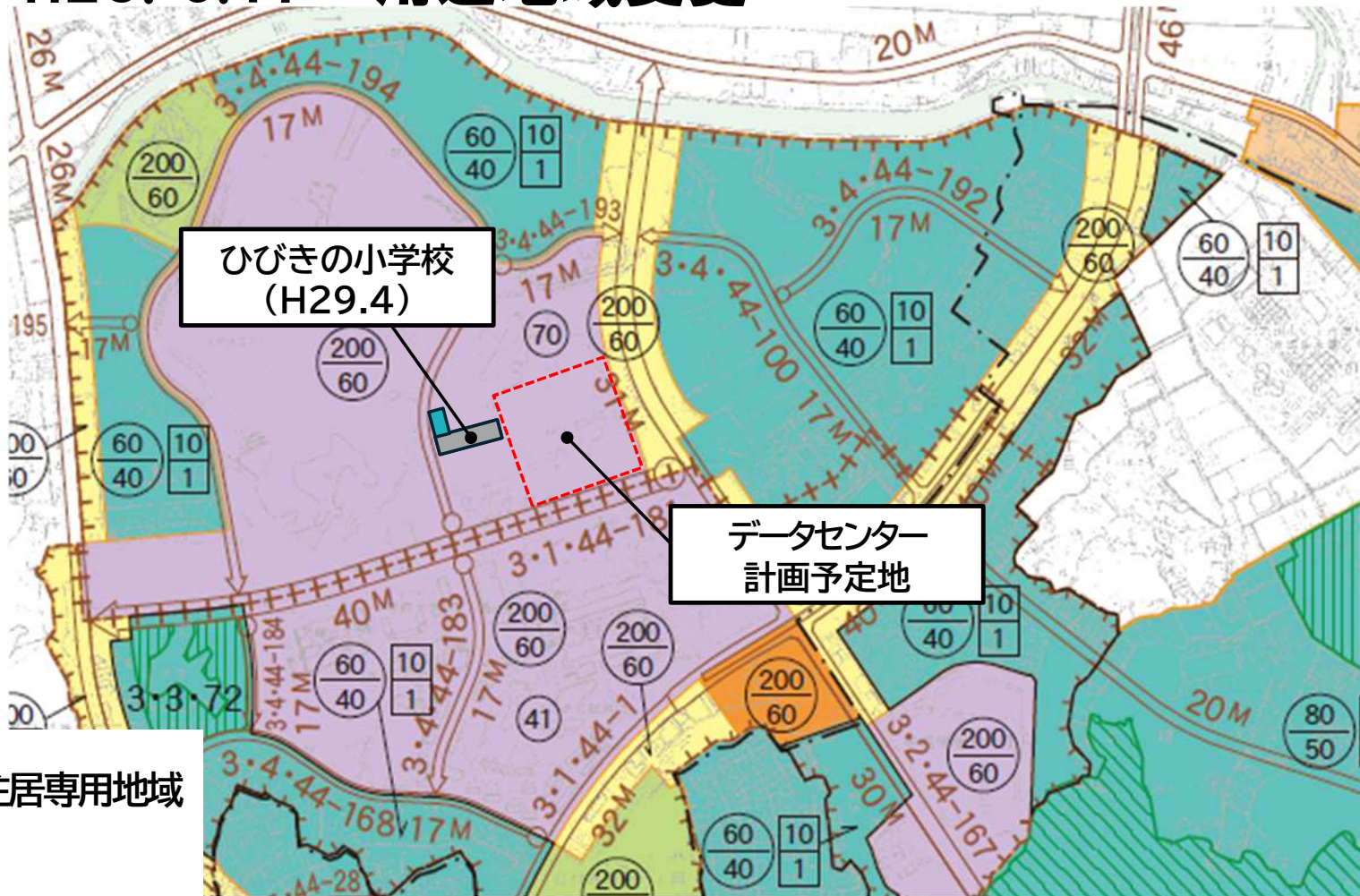
用途地域の変更と土地利用

H17.12.7 用途地域変更

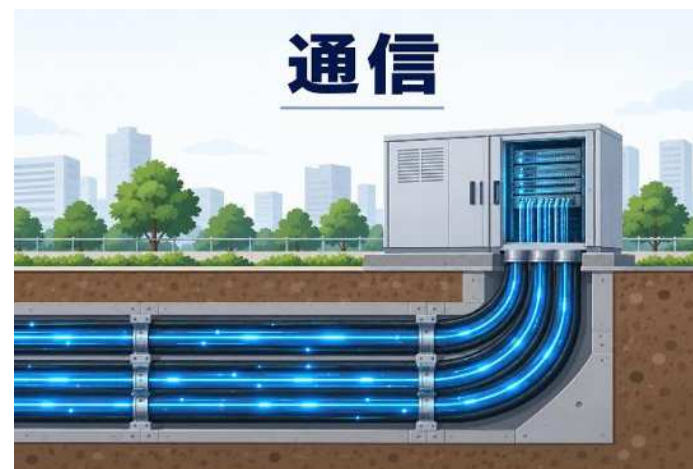


用途地域の変更と土地利用

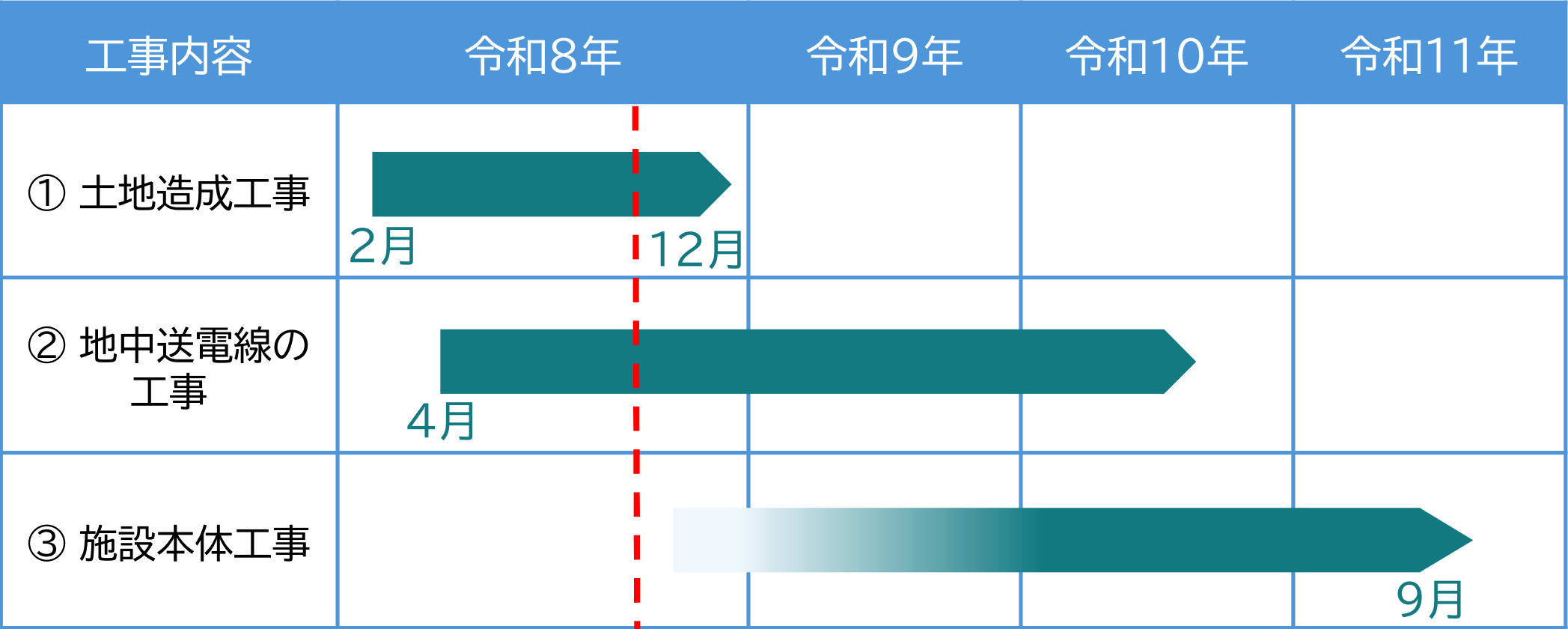
H28. 6.17 用途地域変更



なぜ、この場所が選ばれたのか



工事のスケジュール（現時点）



現在: 令和8年10月

事業者による シミュレーション結果

1棟目の 騒音シミュレーション



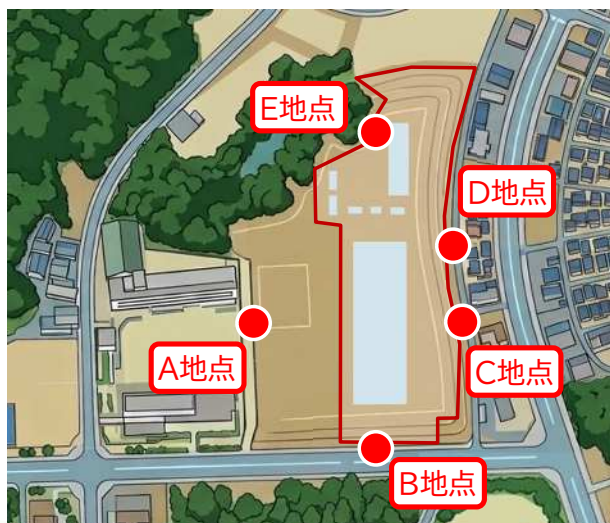
この図は、事業者の資料を基に作成しました。
※実際の建物形状・配置・地盤の高さ等の状況により、
騒音レベルが変化する場合があります。

ご安心
ください

シミュレーションの結果、屋上に設置する室外機の稼働音は、敷地境界(C,Dは住宅地と道路の境界)において
法定の夜間の騒音規制値(55dB)を下回り、図書館から博物館の館内と同程度の音の大きさと予測されます。

計算地点と予測結果(夜間)

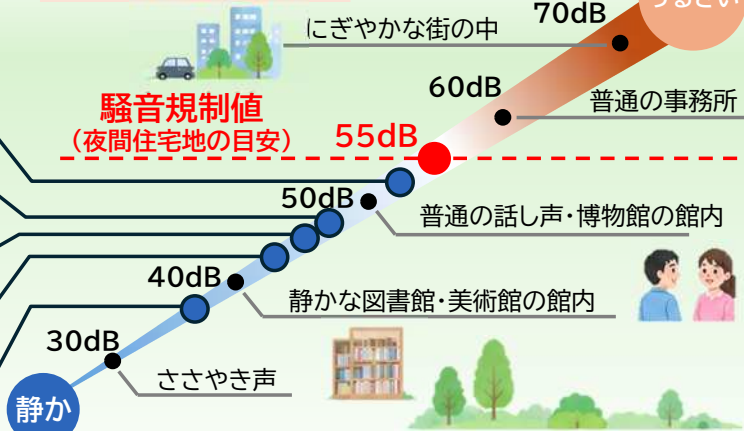
5地点(A~E)における騒音の予測値は、すべて夜間の騒音規制値55dBを下回ります。



騒音の予測値 (夜間)

A地点: 52.6dB
C地点: 47.9dB
E地点: 46.3dB
D地点: 43.6dB
B地点: 36.3dB

音の大きさの目安(参考)



安心のための対策

静かな環境となるよう、以下の対策が実施される予定です。



目隠し壁の設置

設備の周囲を吸音材
付きの壁で囲います。



防音ルーバーの設置

開口部に防音ルーバーを
設置し、音の広がりを抑え
ます。



消音器の設置

機器に消音器を設け
発生する音を低減し
ます。



防振ゴムの設置

架台の下に防振ゴム
を設置して振動を低
減します。

※これは1棟目のシミュレーションです。

2棟目は現時点では事業者の詳細な計画が決まっていないため、具体化した段階でお知らせします。

シミュレーションから分かったこと

- 1 各地点において、
夜間の騒音規制値を下回ります。
- 2 静かな環境となるよう、
施設に対策が施される予定です。

事業者による シミュレーション結果

1棟目の

排熱シミュレーション



この図は、事業者の資料を基に作成しました。
※実際の建物形状・配置・地盤の高さ等の状況により、
拡散の範囲は変化する場合があります。

ご安心
ください

データセンター屋上に配置予定の室外機が全台稼働した場合の
排熱の影響を示しています。シミュレーションの結果、風速2.5m/秒の風が同じ方向に吹き続けた場合でも、
地上付近の気温はほとんど変わらず、周辺の生活環境への影響はほとんどないと予測されます。(外気温は35℃設定)

横から見た気温の広がり(イメージ) 暖かい空気は上空に拡散し、上空で0.5~1.0℃程度の気温上昇がみられます。

南風(風速2.5m/秒)の場合



北西の風(風速2.5m/秒)の場合



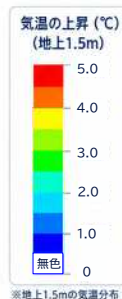
風向き、風速は当該エリアで年間を通して発生頻度の高い条件を設定しています。

上から見た気温の分布(地上1.5m=人が生活する高さ) 地上1.5mの気温は周辺とほとんど変わりません。

南風(風速2.5m/秒)の場合



北西の風(風速2.5m/秒)の場合



シミュレーションから分かったこと

- 1 気温の上昇は上空のみで、0.5~1.0℃程度
- 2 地上1.5m(人が生活する高さ)では
ほぼ影響なし

※これは1棟目のシミュレーションです。2棟目は現時点では事業者の詳細な計画が
決まっていないため、具体化した段階でお知らせします。



事業者による シミュレーション結果

1棟目の

日影シミュレーション



この図は、事業者の資料を基に作成しました。
※実際の建物形状・配置・地盤の高さ等の状況により、
日影の範囲は変化する場合があります。

ご安心
ください

冬至の太陽の動きをもとに、計画建物による影の形状をシミュレーションしました。
法定の日影規制の規制値をすべてクリアしており、ひびきの小学校のグラウンドへの影響はほとんどないことが確認できます。

時間ごとの影の形状(冬至の日)

小学校側に最も影が長くなる8時でも、グラウンドへの日影の影響はほとんどないと予測されます。



8時



12時



14時



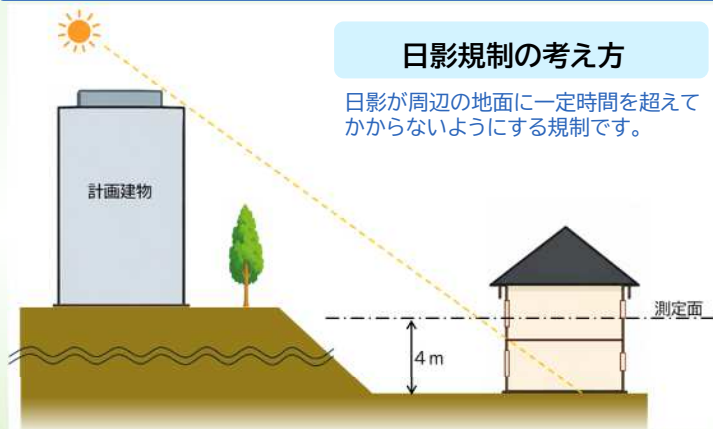
16時



※日影を実際の地盤高さに投影したイメージで作成しています。

法定の日影規制とは？

周辺の地域に一定時間以上、日影がかからないようにするためのルールです。



日影規制の考え方

日影が周辺の地面に一定時間を超えて
かからないようにする規制です。

規制の基準

建物が地面に落とす日影の
時間の上限は区域の種類に
応じて定められています。

区域の種類	測定する高さ	5mライン (敷地境界から5m)	10mライン (敷地境界から10m)
第一種住居地域 (東側(住宅地))	4m	5時間以内	3時間以内
準工業地域※ (西側(小学校))	※福岡県建築基準法施行条例により日影規制対象外		



シミュレーションから
分かったこと

1 計画建物は、この規制値
(5時間・3時間・測定高さ)を
すべてクリアしています。

2 日中(9時～16時頃)は、
小学校のグラウンドに
影はかかりません。

※これは1棟目のシミュレーションです。2棟目は現時点では事業者の詳細な計画が
決まっていないため、具体化した段階でお知らせします。



主なご懸念について

騒音

- 夜間の騒音規制値を下回る
- さらなる騒音低減対策も検討中

排熱

- 地上付近の気温はほとんど変わらない

日影

- 法定の規制値をクリアしている
- ひびきの小学校のグランドへの影響はほとんどないことを確認

通学

- 通学路の維持と入念な見守り
- 工事車両の通行ルートや時間帯の制限

電磁波

- 内部の機器は、家庭用家電(PC・冷蔵庫等)と同程度の電磁波
- 健康への悪影響を示す科学的証拠なし

これまでの対応

	主体	具体的な対応
子どもの 通学路の安全	事業者	・ 工事車両の通行ルートや時間帯への制限
	北九州市	・ 市職員による通学路の安全パトロール ・ 警察への駐車違反パトロールの強化依頼
騒音・環境への 配慮 (設計への反映)	事業者	・ 地下オイルタンク ⇒ コンクリート内に格納、 漏油検知器による24時間監視など
情報提供・相談	事業者	・ 住民説明会の開催
	北九州市	・ 常設相談窓口の設置 ・ 専用ホームページの開設 ・ 住民説明会の開催 ・ 小学校での保護者説明・意見交換(10/18予定)

今後の取組み（案）

- 住民の皆さまと継続的に協議する仕組み
- 安全・安心のために必要なルールや取り決めの明文化
- 地域に貢献する施設の在り方や具体策の検討

事業者が検討中の貢献策（例）



デジタル・AIなど次世代の学びの機会を提供



防災倉庫の設置や地域停電時の電源供給



近隣道路沿いの電灯の設置



地域のイベントやまちづくり活動に協賛

ありがとうございました。